

令和7年 日田市観光動態調査報告書

令和8年3月31日

一般社団法人日田市観光協会

1 調査概略

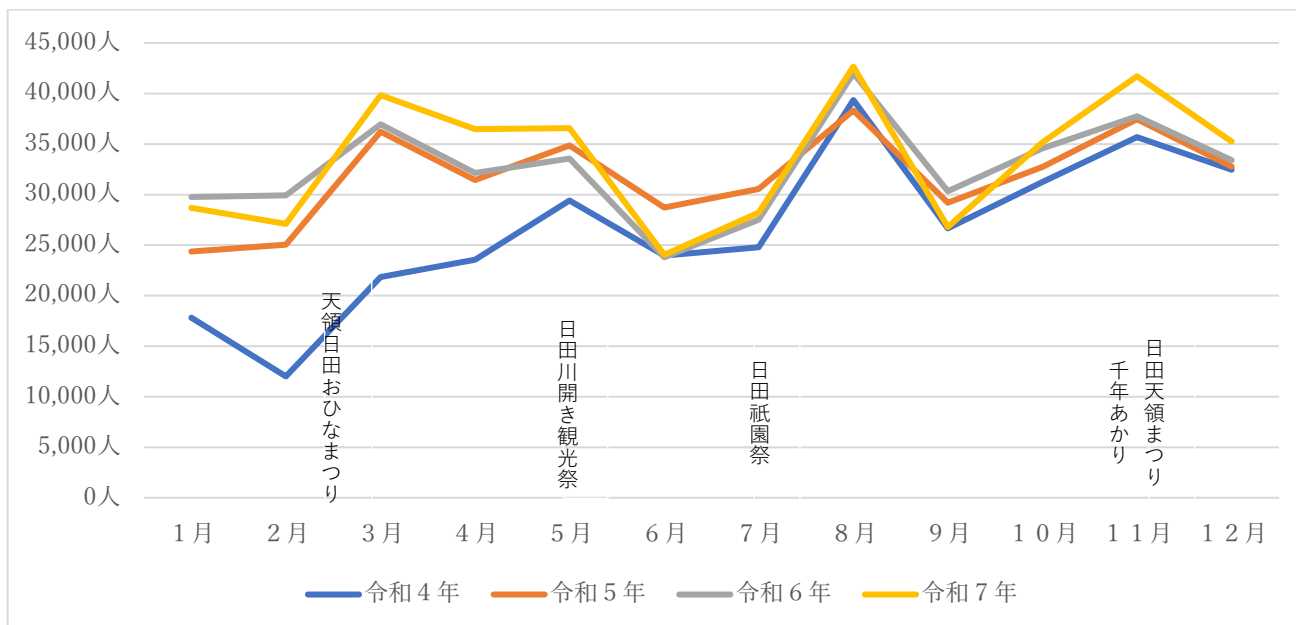
この調査は、令和7年（1月～12月）の市内の主要な宿泊施設の宿泊者数及び、主要観光施設の来館者数、イベント・祭り来場者数を用いて調査したもの。

- ・令和7年の宿泊客数は402,537人で、令和6年と比べ2.8%増加した
- ・令和7年の国内宿泊者数は304,620人で、令和6年と比べ3.2%増加した。
また、国内宿泊客の構成を発地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く（構成比32.0%）、大分県内からは（11.0%）、その他九州からは（県内・福岡県除く）（構成比18.1%）となった。
- ・令和7年外国人宿泊客数は97,917人で、令和6年と比べ1.5%増加した。

宿泊客の動向

令和6年と比較すると増加。福岡県からの宿泊客は横ばい、大分県内からの宿泊客は減少傾向にある。

【図表1】令和7年月別宿泊数 ※日田市観光統計より



2 宿泊客数の動向

令和7年の国内宿泊客数は、令和6年と比べ3.2%増加した。【図表2】

月別では2月、9月が対前年を下回っており、それ以外の月は前年を上回っている。【図表3】

発地別に見ると福岡県からの宿泊客数が最も多く32%を占め、次いで大分県内が11%、その他九州が13%の順となっており、近隣からの宿泊客が約半数を占める状況である。【図表2】

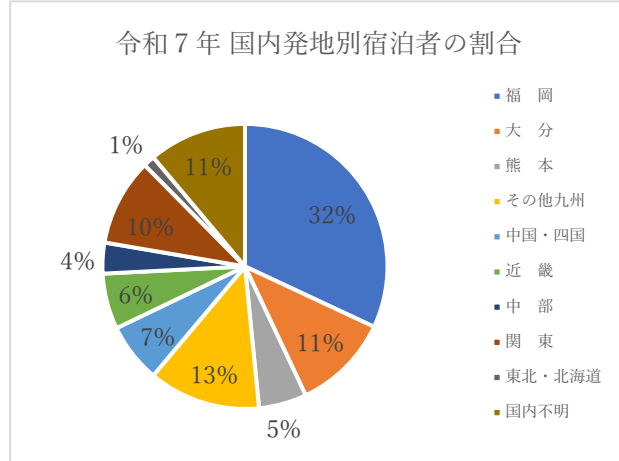
6月～9月にかけて、7月に日本で大地震が起こるといった風評が拡がり大きく前年を下回った【図表4】

地区別宿泊客数は、日田・天瀬両地区で3、8月にピークが来ている。特に奥日田地区について8月のピークが最少の2月の約7倍となっており、繁閑差が大きい。【図表5】

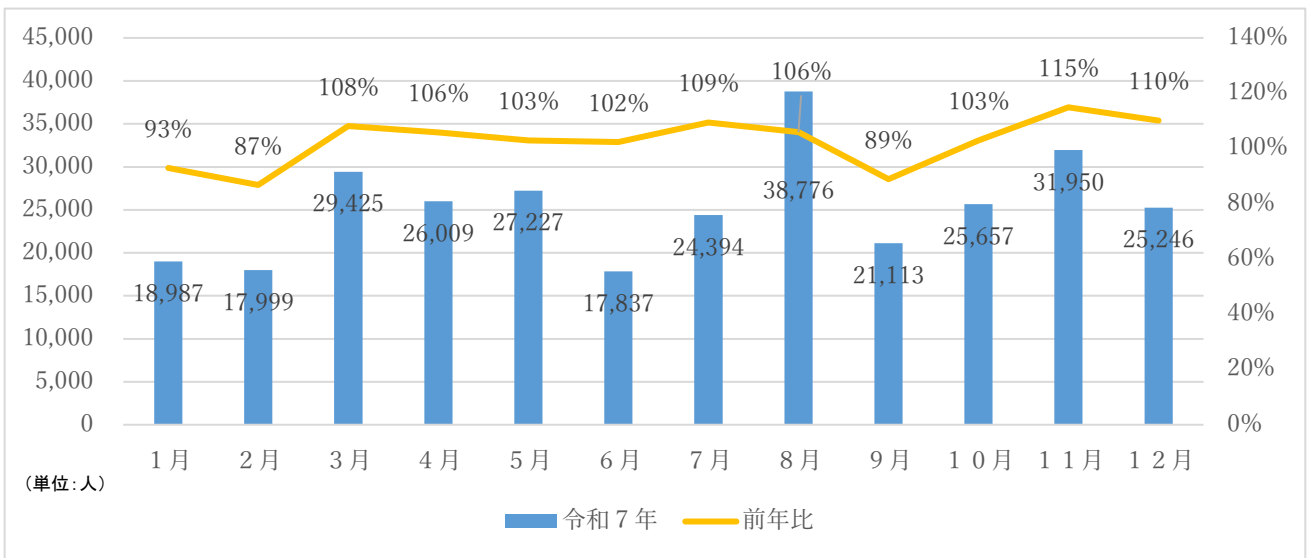
また、日田地区は令和元年と比べ約5%減、天瀬地区は令和元年と比べ約13%減、奥日田地区は令和元年と比べ約30%減となった。コロナ禍に加え令和2年7月豪雨による宿泊施設の休業や宿泊客室数の減少による影響が大きいとみられる。【図表6】

【図表 2】国内発地別宿泊客数及び構成比 ※日田市観光統計より

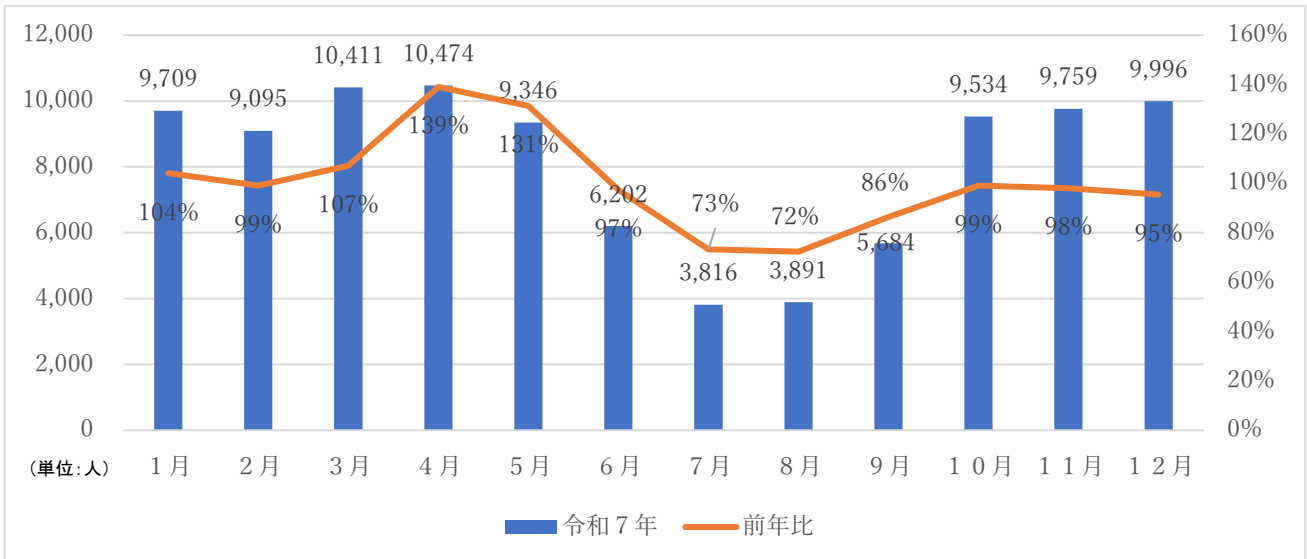
発地先	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	前年比
福岡	116,052	102,061	92,919	97,368	104.8%
大分	51,035	42,983	35,410	33,589	94.9%
熊本	18,996	17,558	16,555	16,542	99.9%
その他九州	29,564	37,188	36,351	38,703	106.5%
中国・四国	17,827	19,016	20,135	20,535	102.0%
近畿	13,653	19,853	17,630	19,266	109.3%
中部	6,804	9,297	9,804	10,666	108.8%
関東	20,724	29,263	25,774	30,128	116.9%
東北・北海道	2,197	3,288	2,981	3,946	132.4%
国内不明	34,319	27,744	37,698	33,877	89.9%
国内計	311,171	308,251	295,257	304,620	103.2%



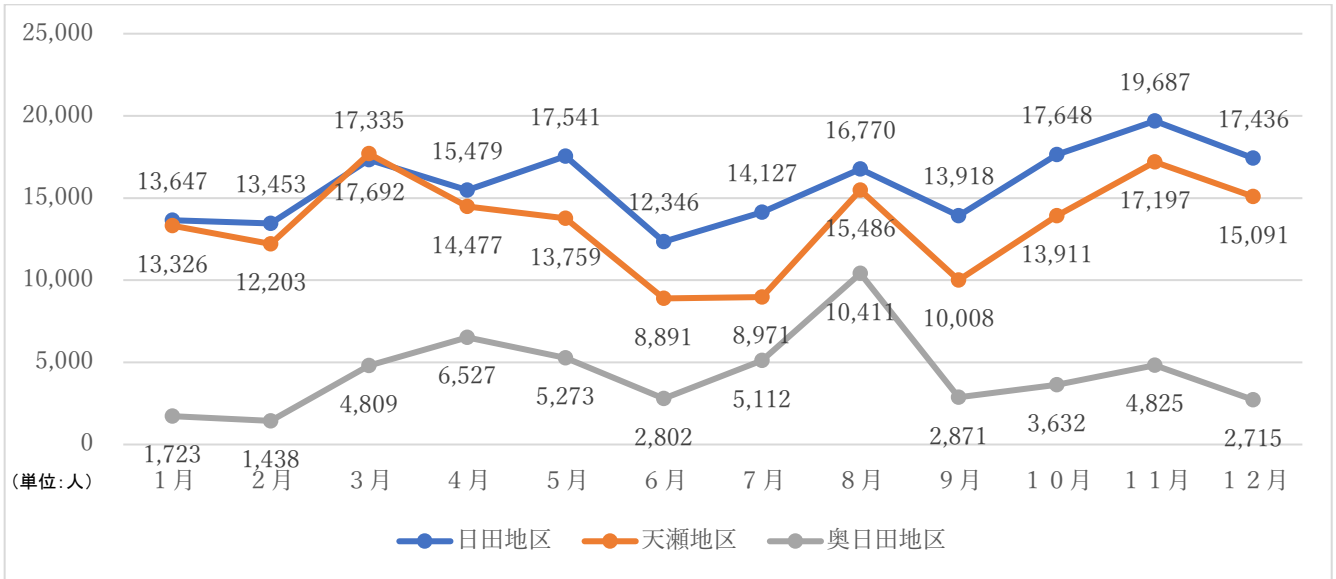
【図表 3】令和7年国内宿泊客数 ※日田市観光統計より



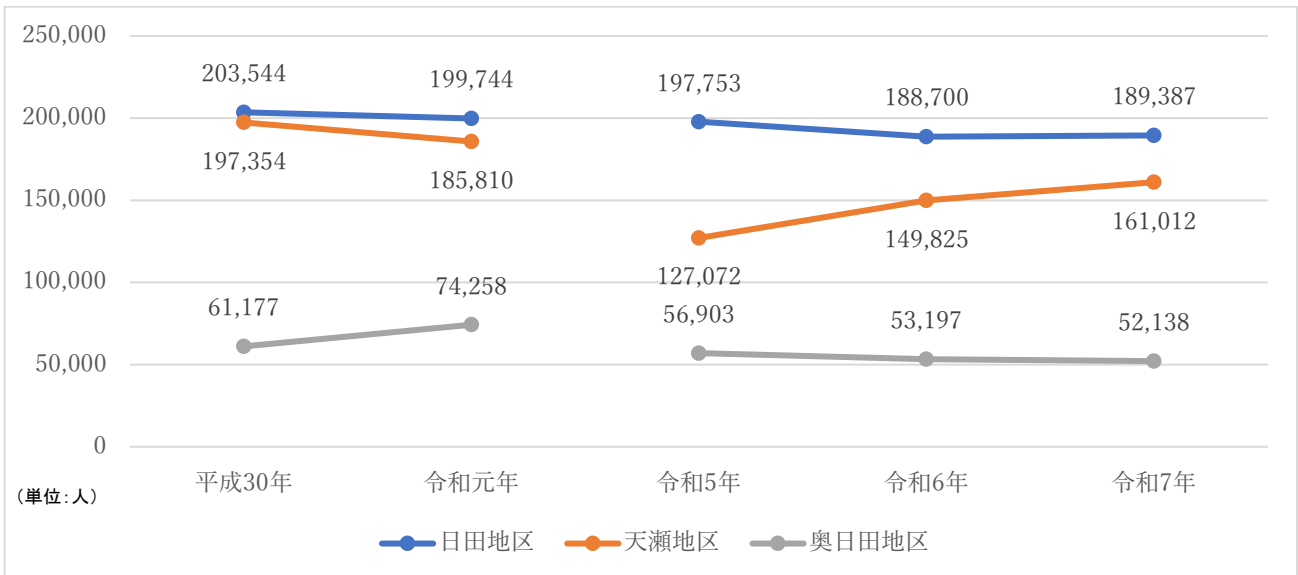
【図表 4】令和7年国外宿泊客数 ※日田市観光統計より



【図表 5】 令和 7 年地区別宿泊客数の月推移 ※日田市観光統計より



【図表 6】 地区別宿泊者数の年推移 ※日田市観光統計より

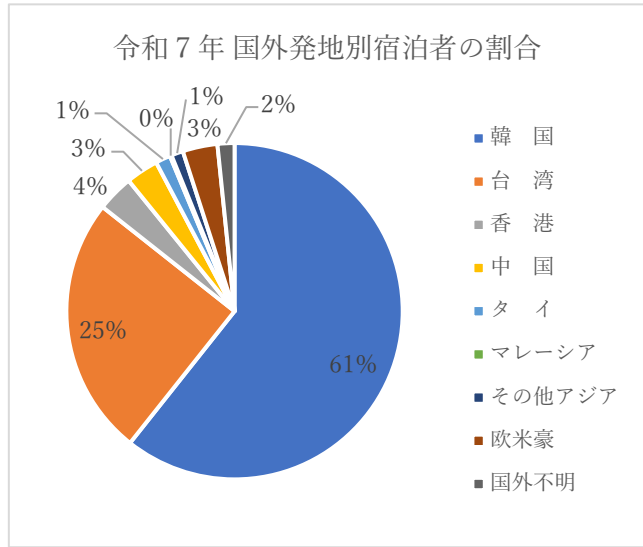


令和 7 年の外国人宿泊客数は、令和 6 年と比べ 1.5%増加した。【図表 7】

外国人宿泊客の国籍・地域別構成比を見ると、韓国からの宿泊客が最も多く、外国人宿泊客全体の 61%を占める。次いで台湾、香港の順となっており、タイ・マレーシア等のその他アジアを含めたアジア圏で約 9 割以上を占めている。【図表 7】

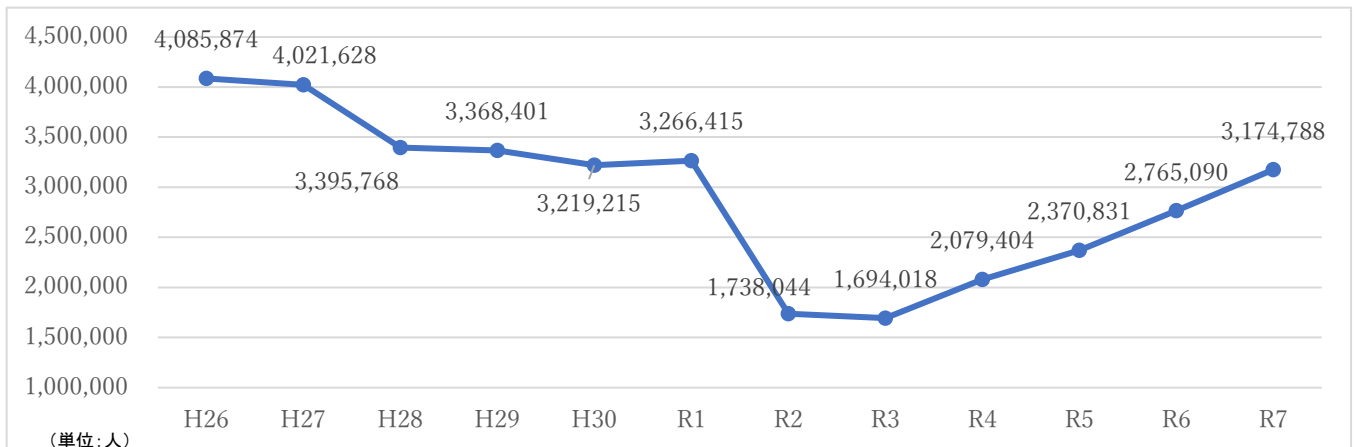
【図表 7】 外国人発地別宿泊客数及び構成比（単位：人） ※日田市観光統計より

発地先	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	前年比
韓国	5,537	48,183	64,450	59,411	92.2%
台湾	0	15,832	20,746	24,448	117.8%
香港	439	3,610	3,744	3,444	92.0%
中国	39	1,417	2,155	3,058	141.9%
タイ	465	1,215	1,002	1,408	140.5%
マレーシア	154	474	391	161	41.2%
その他アジア	173	635	648	1,116	172.2%
欧米豪	92	1,528	2,203	3,276	148.7%
国外不明	235	583	1,126	1,595	141.7%
国外計	7,624	73,477	96,465	97,917	101.5%

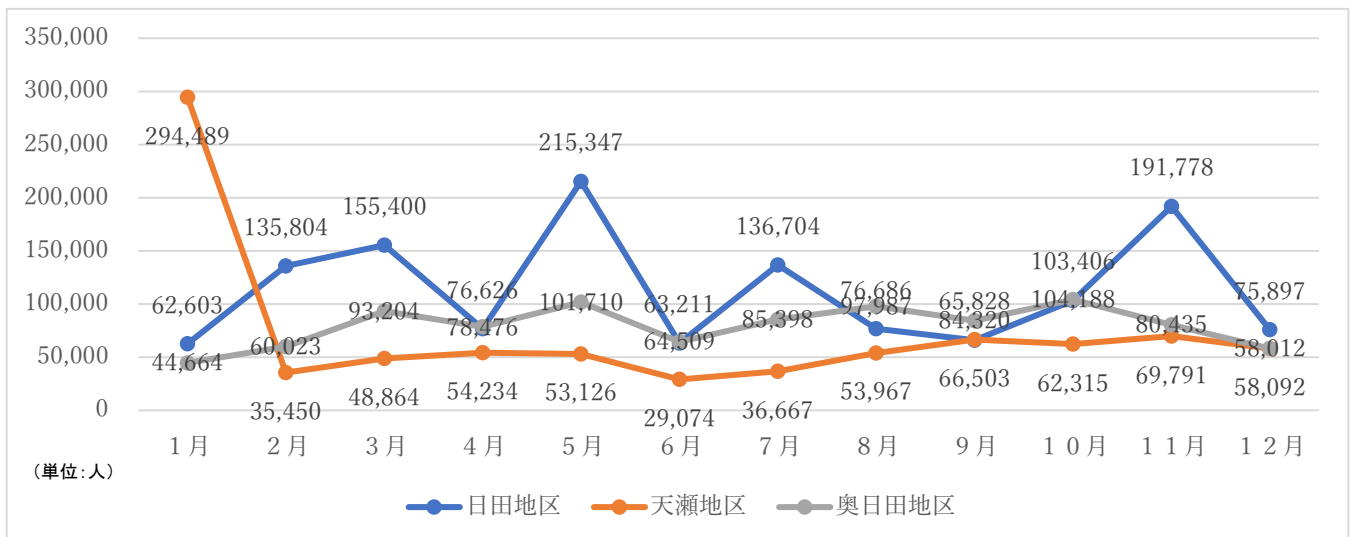


3 日帰り観光客の動向

【図表 8】 日帰り観光客数の推計値 ※日田市観光統計より



【図表 9】 地区別日帰り日帰り観光客数 ※日田市観光統計より



【図表 10】 まつり・イベントの誘客数推移 ※日田まつり振興会事業報告より

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
天領日田おひなまつり	100,800	22,984	10,441	11,314	18,100	82,724	110,185
日田川開き観光祭	118,000	-	4,310	98,000	124,000	205,000	130,000
日田祇園集団顔見世	16,000	-	-	-	16,000	-	20,000
日田祇園祭	48,000	-	-	8,000	34,000	40,000	52,000
日田天領まつり・千年あかり	110,000	-	18,559	75,000	76,000	65,000	90,000

4 宿泊客と日帰り観光客の割合

宿泊率 11.3%となった。例年、本市の観光入込客の 10～15%が宿泊客であり、周辺観光地と比較すると宿泊観光客の割合が少なく、立ち寄り地となっている。【図表 11】 【図表 12】

【図表 11】 宿泊客と日帰り観光客の割合 ※日田市観光統計より

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
総数(人)	3,848,573	3,681,290	3,726,227	1,960,848	1,912,341	2,398,199	2,752,559	3,156,812	3,577,325
日帰り(人)	3,368,401	3,219,215	3,266,415	1,738,044	1,694,018	2,079,404	2,370,831	2,765,090	3,174,788
宿泊(人)	480,172	462,075	459,812	222,804	218,323	318,795	381,728	391,722	402,537
宿泊率	12.5%	12.6%	12.3%	11.4%	11.4%	13.3%	13.9%	12.4%	11.3%

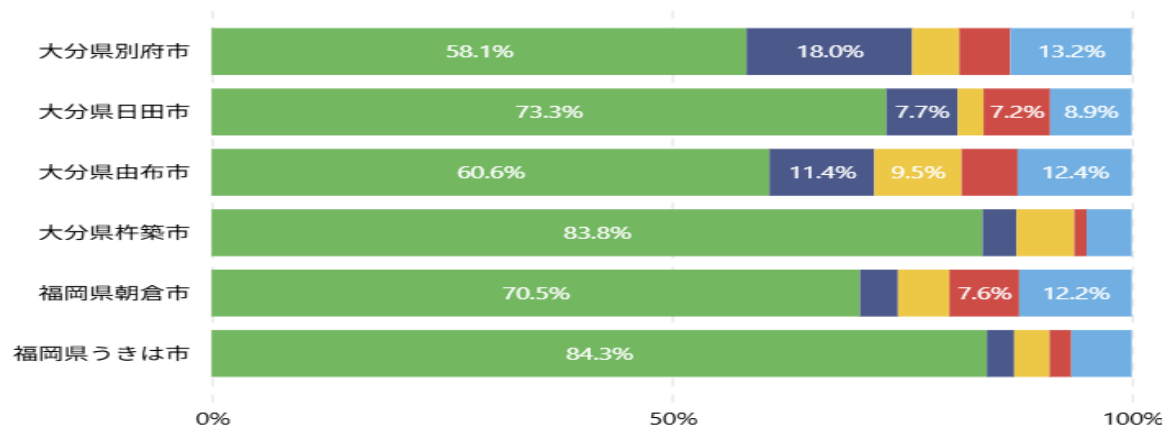
【図表 12】 他自治体との入込客の比較 (令和 7 年) ※おでかけウォッチャーより

来訪地・旅程(宿泊地)別構成

構成比

人数

旅程 ● 日帰り ● 宿泊(市区町村内宿泊) ● 宿泊(県内他市区町村...) ● 宿泊(県外宿泊) ● 宿泊(帰宅日)



【宿泊】

夜間(翌日 1:00～4:59)に位置情報が最も多く検知されたエリアが来訪者の発地と異なる場合、同日の旅程を「宿泊(宿泊日)」と判定し、最も多く検知されたエリアを宿泊市区町村と定義

(例えば、1/7 1:00～4:59 に A 市を発地とする来訪者が B 市にて位置情報が最も多く検知された場合、1/6 の旅程を B 市への宿泊とする)

【日帰り】

夜間(翌日 1:00～4:59)に位置情報が最も多く検知されたエリアが来訪者の発地と一致する場合、同日の旅程を「日帰り」と判定

(※ただし、前日の旅程が宿泊と判定された場合は、同日の旅程を「宿泊(帰宅日)」と判定する)

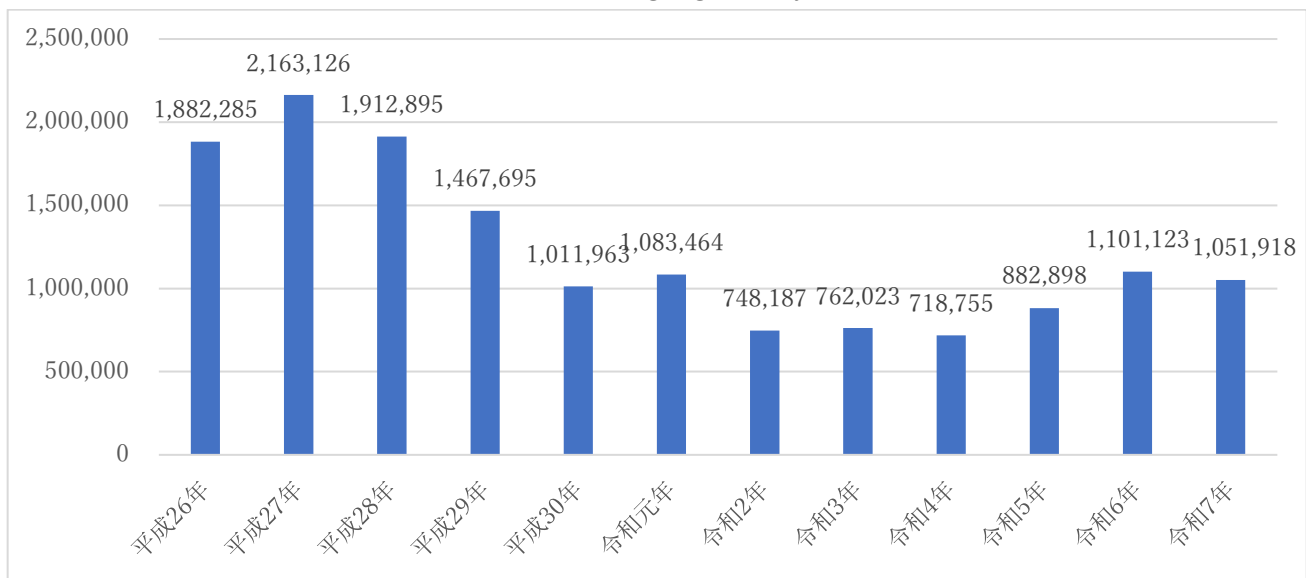
5 日田市観光協会ホームページのアクセス状況 ※google analytics より

コロナ禍以降、順調にPV数は増加してきており、令和元年を上回るまで回復している。【図表 13】

【図表 13】 月間ページビュー（PV）数の推移



【図表 14】 年間ページビュー（PV）数の推移 ※google analytics より



7 観光消費額と経済波及効果

1) 観光消費額（推計）

令和7年の観光消費額：449億61万円

令和6年の旅中アンケート調査から得られた1人当たり観光消費額から算出した令和7年の観光消費額は約449億61万円となった。

① 令和6年旅中アンケート調査結果から推計する1人当たりの観光消費額及び大分県観光実態調査報告書（令和6年度）からみる大分県内での1人当たり観光消費額

	日田市内（前回調査）	大分県内（前回調査）
日帰り旅行	8,500円（9,749円）	5,296円（6,642円）
宿泊旅行	44,505円（21,978円）	40,970円（54,312円）

② 日帰り観光客推計値及び市内宿泊客数から算出する観光消費額

令和7年	入込客数	観光消費額（推計）
日帰り観光客	3,174,788人	269億8,570万円
宿泊観光客	402,537人	174億3,358万円
（合計）	3,577,325人	449億61万円

※日田市の観光消費額を算出する上での観光入込客数は、日帰り観光客、宿泊客数ともに日田市観光統計の数値を使用する。

2) 令和7年の経済波及効果（生産誘発額）

令和7年総合効果：486億3,989万円

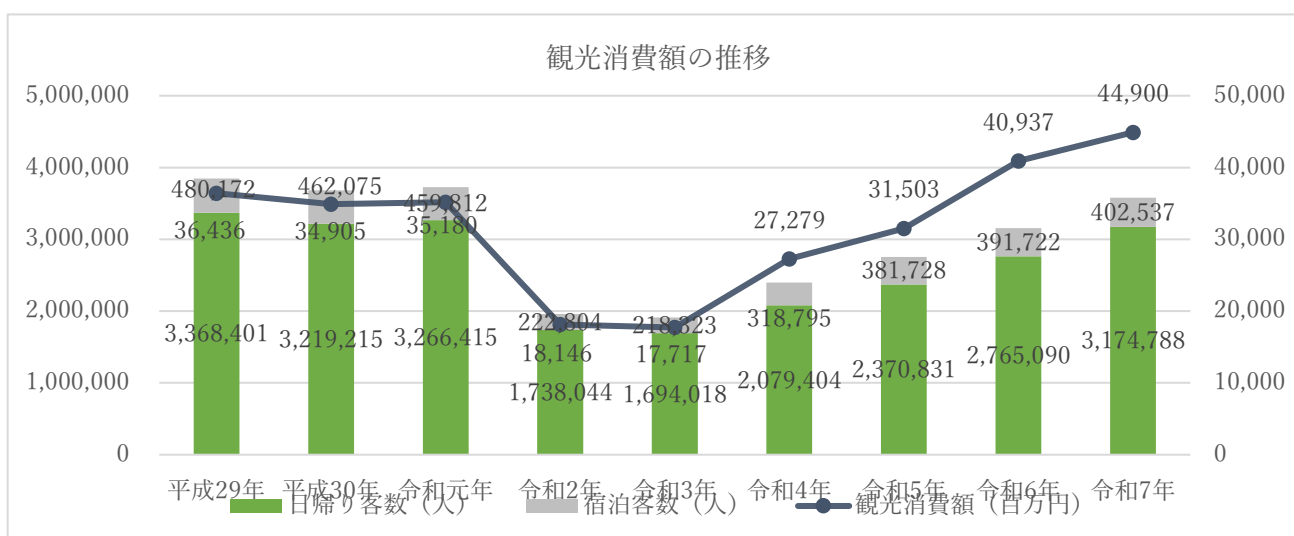
※大分県経済波及分析ツール観光消費Ver2（平成27年）を利用。一人当たり観光消費額は旅中調査結果のを使用し算定した。

8 KGI（重要目標達成指標）とKPI（重要業績評価指標）

KGIとして「観光消費額」、主要KPIとして「日帰り客数」、「宿泊客数」を設定。

インバウンド需要の急回復、観光消費単価の向上により、目標を大幅に上回る達成率となった。

【図表15】



【図表 16】 各 KGI と KPI の数値と達成率

		R1	R5	R6	R7	R8	R9
実績	日帰り客数 (人)	3,266,415	2,370,831	2,765,090	3,174,788		
	宿泊客数 (人)	459,812	381,728	391,722	402,537		
	観光消費額(億円)	309	315	409	449		
目標値	日帰り客数 (人)	2,670,000	2,160,000	2,270,000	2,380,000	2,490,000	2,600,000
	宿泊客数 (人)	460,000	320,000	350,000	370,000	400,000	420,000
	観光消費額(億円)	310	239	257	274	292	310
達成率	日帰り客数 (人)	122%	110%	122%	133%		
	宿泊客数 (人)	100%	119%	112%	109%		
	観光消費額(億円)	100%	132%	159%	164%		

※観光消費額 R7年の目標値を、R6年の消費単価で再計算すると（現行はR4年の消費単価）、下記の通りとなる。

目標値：367億円

達成率：122%

<MEMO>